

一般質問通告書

令和6年 北秋田市議会 3月定例会

順位	2-1	質問者	1 福田 牧子	(公明党)	出席を要求する理事者	市長
質問事項及び要旨					理事者の答弁	
1. 感染症予防について ①60歳以上の成人・高齢者に対するRSウイルス感染症ワクチン接種の公費助成の導入について 1) RSウイルスは、乳幼児期だけでなく生涯繰り返し感染し、高齢者では重症化リスクが高く、過去に老人福祉施設で集団感染が発生している。このウイルスは、入院、致死率を増加させ、さらに、集中治療室の入室が必要な市中肺炎患者において10.9%の高頻度で検出されたウイルスで、厚生科学審議会感染症分科会予防接種部会において、開発優先度の高いワクチン6つの一つであった。本年1月、RSウイルス感染症予防ワクチンが発売されたが、1回2万円、2年に1回の接種間隔となる。基礎疾患を持つ高齢者の健康を守り、医療費の削減になると考えるが公費助成の考えはあるか。 2. 地域防災対策について ①避難所の準備体制について 1) 避難所におけるトイレの問題について、全国で20の自治体がトイレトレーラーを保持しており、能登半島地震において、それらが搬入され活用されている。1台につき、トイレは3～4基と十分な数字ではないが、各自治体が配置する事で災害時に貸し出すことができると考える。最大3000万円の3分の1が自治体負担となるが、購入についての考えはあるか。 2) 各避難所へ備品の分散備蓄の必要性がある则认为るが、市長の見解は。 3) 避難行動要支援者の「個別避難計画」の進捗状況は。 4) 福祉避難所は予め、開設予定施設との連携、準備体制の構築が必要と考えるが進捗状況は。 5) 避難所における管理者の条件について決める必要があると考えるが如何か。						